

令和3年度 事業報告

『概 要』

当協会は、公益性を最優先に、透明性の高い運営、かつ地域社会の水環境の保全、生活環境及び公衆衛生の向上に寄与することを目的に、浄化槽の適正な『維持管理』の講習会を開催することを通じて、浄化槽技術者の知識・技術の向上を図り、「こども環境教室」等による浄化槽の普及啓発、各種浄化槽情報の提供、協会運営に必要な会議の開催及び浄化槽行政関係部局並びに関係団体等との連携・参画に努めた結果、長引く新型コロナウイルスの感染拡大による各種事業の中止や規模の縮小が生じたものの大きな影響はなく、次のとおりほぼ計画通りに実施された。

【公益目的事業】

《公1：浄化槽法に基づく検査事業》

1 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の検査に関する事業

浄化槽の法定検査事業については、7条検査が計画を上回る104.5%の実施率となった。11条検査については、検査員によるガイドライン検査及び検査補助員による効率化検査であるBOD測定ともにほぼ例年同様の実績となった。みなしえ浄化槽の実施率には課題を残す結果であった。

以下に、令和3年度の法第7条及び法第11条の法定検査の実施状況を示す。

法区分		人槽	10以下	11～20	21～100	101～500	501～3,000	3,001以上	計	
7条	計画基數 a	合併	2,990	95	198	16	1	0	3,300	
	実施基數 b	合併	3,157	82	186	21	1	0	3,447	
	執行率 c=b/a		105.6%	86.3%	93.9%	131.3%	200.0%	—	104.5%	
11条	計画基數	検査員	単独 d	1,170	1,482	3,160	105	3	5,920	
		合併 e	24,083	2,280	5,200	1,650	348	19	33,580	
		計 f=d+e	25,253	3,762	8,360	1,755	351	19	39,500	
	BOD測定 g		50,000						50,000	
	実施基數	検査員	小計 h=f+g	75,253	3,762	8,360	1,755	351	19	89,500
		検査員	単独 i	1,144	1,429	3,024	98	3	5,698	
		合併 j	23,635	2,157	5,064	1,587	336	19	32,798	
	執行率	計 k=i+j	24,779	3,586	8,088	1,685	339	19	38,496	
		BOD測定 l	50,108						50,108	
		小計 m=k+l	74,887	3,586	8,088	1,685	339	19	88,604	
合計	検査員	単独 n=i/d	97.8%	96.4%	95.7%	93.3%	100.0%	—	96.3%	
		合併 o=j/e	98.1%	94.6%	97.4%	96.2%	96.6%	100.0%	97.7%	
		計 p=k/f	98.1%	95.3%	96.7%	96.0%	96.6%	100.0%	97.5%	
	実施率	BOD測定 q=l/g	100.2%						100.2%	
		小計 r=m/h	99.5%	95.3%	96.7%	96.0%	96.6%	100.0%	99.0%	
	計画基數 A=a+h		78,243	3,857	8,558	1,771	352	19	92,800	
	検査実施基數 B=b+m (内数=BOD測定)		78,044	3,668	8,274	1,706	340	19	92,051 (50,108)	
	実施率 (7条+11条) C=B/A		99.7%	95.1%	96.7%	96.3%	96.6%	100.0%	99.2%	

(1) 実施基数について

7条検査は、計画基数3,300基に対し実施基数は3,447基となり、実施率は104.5%となった。

11条検査全体では、計画基数89,500基に対して実施基数が88,604基、実施率99.0%とほぼ計画通りの実績となった。なお、11条検査（BOD測定）の採水実績は50,164基であったが、前年度の二次検査の進捗結果及び次年度に繰り越す二次検査から56基の差違が生じ、検査基数は50,108基であった。

(2) 判定結果について

検査結果における判定内容を次の表に示す。

単位:基

法区分	支所	合併処理(計)								
		適正		おおむね適正		不適正		合計		
		a	b=a/A	c	d=c/A	e	f=e/A	A=a+c+e	B-A/C	
7条	福島	782	70.0%	314	28.1%	21	1.9%	1,117	32.4%	
	郡山	535	60.1%	305	34.3%	50	5.6%	890	25.8%	
	会津	229	73.2%	78	24.9%	6	1.9%	313	9.1%	
	いわき	783	69.5%	304	27.0%	40	3.5%	1,127	32.7%	
	計	2,329	67.6%	1,001	29.0%	117	3.4%	C	3,447	
11条	支所	単独処理(計) ①								
		適正		おおむね適正		不適正		合計		
		a	b=a/A	c	d=c/A	e	f=e/A	A=a+c+e	B-A/C	
		福島	843	47.8%	800	45.4%	120	6.8%	1,763	51.1%
		郡山	815	54.0%	573	38.0%	120	8.0%	1,508	43.7%
		会津	836	65.6%	366	28.7%	73	5.7%	1,275	37.0%
		いわき	711	61.7%	411	35.7%	30	2.6%	1,152	33.4%
		計	3,205	56.2%	2,150	37.7%	343	6.0%	C	5,698
	支所	合併処理(検査員) ②								
		適正		おおむね適正		不適正		合計		
		a	b=a/A	c	d=c/A	e	f=e/A	A=a+c+e	B-A/C	
		福島	4,275	61.9%	2,174	31.5%	456	6.6%	6,905	21.1%
		郡山	8,571	62.0%	4,573	33.1%	681	4.9%	13,825	42.2%
		会津	4,446	68.9%	1,837	28.5%	168	2.6%	6,451	19.7%
		いわき	3,826	68.1%	1,622	28.9%	169	3.0%	5,617	17.1%
		計	21,118	64.4%	10,206	31.1%	1,474	4.5%	C	32,798
11条	支所	合併処理(BOD測定) ③								
		適正		おおむね適正		不適正		合計		
		a	b=a/A	c	d=c/A	e	f=e/A	A=a+c+e	B-A/C	
		福島	22,636	89.4%	2,622	10.4%	58	0.2%	25,316	50.5%
		郡山	6,117	83.3%	1,185	16.1%	41	0.6%	7,343	14.7%
		会津	5,578	89.3%	623	10.0%	46	0.7%	6,247	12.5%
		いわき	9,368	83.6%	1,795	16.0%	39	0.3%	11,202	22.4%
		計	43,699	87.2%	6,225	12.4%	184	0.4%	C	50,108
	支所	合併処理(合計) ④=②+③								
		適正		おおむね適正		不適正		合計		
		a	b=a/A	c	d=c/A	e	f=e/A	A=a+c+e	B-A/C	
		福島	26,911	83.5%	4,796	14.9%	514	1.6%	32,221	64.3%
		郡山	14,688	69.4%	5,758	27.2%	722	3.4%	21,168	42.2%
		会津	10,024	78.9%	2,460	19.4%	214	1.7%	12,698	25.3%
		いわき	13,194	78.4%	3,417	20.3%	208	1.2%	16,819	33.6%
		計	64,817	78.2%	16,431	19.8%	1,658	2.0%	C	82,906
11条	支所	11条検査(合計) ⑤=①+④								
		適正		おおむね適正		不適正		合計		
		a	b=a/A	c	d=c/A	e	f=e/A	A=a+c+e	B-A/C	
		福島	27,754	81.7%	5,596	16.5%	634	1.9%	33,984	67.8%
		郡山	15,503	68.4%	6,331	27.9%	842	3.7%	22,676	45.3%
		会津	10,860	77.7%	2,826	20.2%	287	2.1%	13,973	27.9%
		いわき	13,905	77.4%	3,828	21.3%	238	1.3%	17,971	35.9%
		計	68,022	76.8%	18,581	21.0%	2,001	2.3%	C	88,604

7条検査は、全て合併処理浄化槽であり検査基数3,447基のうち、適正2,329基(67.6%)、おおむね適正1,001基(29.0%)及び不適正117基(3.4%)の判定結果となった。

11条検査は、検査員によるガイドライン検査は、検査基数38,496基に対し適正24,323基(63.2%)、おおむね適正12,356基(32.1%)及び不適正1,817基(4.7%)の判定結果であった。

また、11条検査(BOD測定)は、検査基数50,108基に対し適正43,699基(87.2%)、おおむね適正6,225基(12.4%)及び不適正184基(0.4%)の判定結果であった。

全11条検査における判定結果は、検査基数88,604基に対して適正68,022基(76.8%)、おおむね適正18,851基(21.0%)及び不適正2,001基(2.3%)の判定結果であった。

(3) 11条検査(BOD測定)について

平成17年度より効率的な法定検査の実施方法について、10人槽以下の合併処理浄化槽に導入し、検査体制の整備・向上を図っている。11条検査(BOD測定)の実施者となる浄化槽管理士に委嘱する検査補助員の委嘱状は、5年ごとの講習会を義務付け更新している。

このため、令和3年度は新規検査補助員講習会を3回開催し、更新のための講習会については福島県及び中核市3市と共に「浄化槽の適正な維持管理技術に関する講習会」のカリキュラムと重複することから、本講習会の受講を以て更新とした。

①検査補助員委嘱状交付件数(令和4年3月31日現在)

浄化槽管理士565名(講習会修了者は合計627名)

②11条検査(BOD測定)業務協定書締結状況(令和4年3月31日現在)

協定書締結保守点検業者136社

③検査補助員講習会の開催状況について

新規の検査補助員講習会を計3回開催し41名が受講修了した。

開催日	会場	修了者数
3. 6. 14	石川町 石川町商工会	9名
3. 8. 10	郡山市 郡山ユラックス熱海	12名
4. 2. 9	郡山市 郡山ユラックス熱海	20名

また、11条検査(BOD測定)を実施する保守点検業者に所属する浄化槽管理士の更新対象者については、今年度から県及び中核市3市における保守点検業者登録条例で指定する「浄化槽の適正な維持管理技術に関する講習会」のカリキュラムと重複することから、この講習会の受講を以て検査補助員資格を更新することができるよう令和2年度に諸規程の改正を行った。今年度の講習会の開催状況は、2会場で2回開催した。

④11条検査の円滑な実施に関する会議等の開催状況について

石川郡管内における11条検査(BOD測定)の実施に向けて、管内町村の浄化槽担当課と当協会の情報共有と住民への周知方法などについて意見交換会を令和3年9月27日に石川町役場において開催した。

管内町村及び一部事務組合から8名が出席した。



(4) 凈化槽検査委員会

指定検査機関として、定款に基づき学識経験者や行政等各分野において推薦された委員で構成する「浄化槽検査委員会」を設置し、当委員会の審議を通じて、検査事業の信頼性の確保と公平性及び透明性を図っている。

【浄化槽検査委員会開催状況】

開催日	名称	会場	出席者
3. 7. 22	第1回 浄化槽検査委員会	福島市 ウェディングエルティ	委員 12名 大河原会長、岡・吉川両副会長
4. 3. 9	第2回 浄化槽検査委員会	福島市 ウェディングエルティ	委員 12名(うち委任状3名) 大河原会長、岡・吉川両副会長

公益社団法人 福島県浄化槽協会 浄化槽検査委員会委員名簿

令和4年3月31日現在

No	役職名	氏 名	所 属	区 分
1	委 員	なかの かずのり 中 野 和 典	日本大学工学部 教授	(学識経験者) 環境専門知識者
2	委 員	さかいの こめこ 境 野 米 子	浄化槽管理者	(浄化槽管理者代表)
3	委 員	いなもり ゆうへい 稻 森 悠 平	N P O 法人 バイオエコ技術研究所 理事長	(学識経験者) 検査制度専門知識者
4	委 員	あべ しゅうたろう 安 部 修 太 郎	安部修太郎税理士事務所	(学識経験者) 会計専門知識者 東北税理士会福島支部推薦
5	委 員	もぎ まさひこ 望 木 昌 彦	一般社団法人 福島県環境測定・放射能計測協会 会長	(学識経験者) 計量証明事業協会 推薦
6	委 員	みうら たけお 三 浦 健 生	福島県生活環境部 一般廃棄物課 課長	(関係行政機関) 県生活環境部一般廃棄物課
7	委 員	ほし たけし 星 刚	福島県土木部 建築指導課 課長	(関係行政機関) 県土木部建築指導課
8	委 員	あべ まさゆき 阿 部 雅 行	郡山市上下水道局 お客様サービス課 課長	(関係行政機関) 市代表
9	委 員	わたなべ あきひろ 渡 部 彰 啓	猪苗代町上下水道課 課長	(関係行政機関) 町村代表
10	委 員	あなざわ さだお 穴 澤 貞 夫	株式会社 光和設備工業所 南会津支店 支店長	(会員理事) 工事業者代表
11	委 員	やまかわ まさと 山 川 正 人	山 川 産 業 有限会社 代表取締役	(会員理事) 保守点検業者代表
12	委 員	たはら よしひさ 田 原 義 久	株式会社 昭和衛生センター 代表取締役	(会員理事) 清掃業者代表

(5) 処理槽法第11条検査受検率向上策検討委員会

令和元年度より処理槽検査委員会に法第11条検査受検率向上策検討委員会を設置し、今後の法第11条検査の受検率の向上策を検討する。

[開催回数] 令和元年度から年3回から4回程度開催するものとする。

[検討事項] 検討委員会は、次の事項について協議検討するものとする。

(1) 検査員が実施する検査に関する検討

- ①効率化検査の導入方法について
- ②検査の結果に対する対応について

(2) みなし（単独処理）処理槽の効率化検査の導入について

- ①効率化検査の導入方法について
- ②検査方法、判定方法について
- ③検査手数料の改訂の必要性の有無
- ④効率化検査導入における業務委託の方法等

[委員名簿] 下表のとおり

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	所属及び役職
委員長	中野和典	日本大学工学部 教授 (公益社団法人福島県処理槽協会処理槽検査委員会 委員長)
副委員長	濱中俊輔	公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ サブリーダー(兼)調査研究第1チームリーダー
委員	安藤祐二	福島市都市政策部下水道室下水道総務課処理槽係 主任技査兼処理槽係長
委員	近藤和幸	棚倉町上下水道課課長
委員	山川正人	協同組合県北地区処理槽管理協会 代表理事
委員	矢野倉弘	郡山市水管理協同組合 理事長
委員	長尾昌也	いわき市環境整備事業協同組合 理事 (福島県環境整備協同組合連合会 推薦)
委員	渡部洋紀	南会津環境整備協業組合 理事長
委員	小林幸夫	公益財団法人群馬県環境検査事業団 専務理事(兼)事務局次長
委員	大河内吉二	公益社団法人福島県処理槽協会処理槽検査委員会 検査部部長
オブザーバー	鈴木宏孝	福島県生活環境部一般廃棄物課 主幹

[開催状況]

第3回検討委員会を令和3年10月18日に福島市ウェディングエルティにて開催した。
委員10名(WEB:3名)の出席であった。



(6) 職員・支所長会議及び職員の研修

1. 支所長会議

法定検査を適正かつ計画的に執行するため、浄化槽検査委員会支所長会議等を開催した。

開催日	名称	会場	内容
3. 4. 1	令和3年度職員会議	福島市 パルセいいざか	【出席者：正職員、嘱託職員 32名】
3. 4. 1	第1回支所長会議	福島市 パルセいいざか	【出席者：事務局長、管理職 7名】
4. 1. 4	第2回支所長会議	福島市 ウェディングエルティ	【出席者：事務局長、管理職 7名】

2. 若年層の検査員を主対象とした内部研修会

採用後10年未満の検査員を主対象とした定期的な情報共有と知識向上のためのオンライン研修を計10回実施した。

(7) 指定検査機関等他団体関係事業

開催日	名称	会場	内容
3. 9. 2	北海道・東北地区浄化槽指定検査機関連絡協議会 第35回通常総会及び理事会	青森県青森市 協議会事務局	※書面開催
3. 10. 19 ～20	第35回 全国浄化槽技術研究集会	愛媛県松山市 ANA クラウン ホテル松山	※開催中止

2 淨化槽に関する調査研究事業

○ 研究発表

第35回全国淨化槽技術研究集会において下記の研究課題を発表する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い今年度も研究集会の開催が中止となった。

なお、今回の研究課題は月刊淨化槽 2021年11月号において誌上発表となった。

〔タイトル〕福島県における令和元年東日本台風等に伴う淨化槽浸水被害に関する報告

〔研究者〕鈴木 頌允、棚木 康仁

〔研究要旨〕令和元年10月に発生した「令和元年東日本台風」では、東日本の広範囲に甚大な被害をもたらした。本研究では、福島県における令和元年東日本台風及び10月25日の低気圧による淨化槽浸水被害に関して、関係業者からの情報収集結果の報告を取りまとめたほか、地理情報システム(GIS)と台風前後の浸水被害想定区域を活用した淨化槽の浸水被害の比較検証を行い、GISによる浸水発生時の淨化槽被害想定に関する情報発信を行う。

○ 情報提供

(公財)日本環境整備教育センターの要請により月刊淨化槽 2022年3月号において特集「指定検査機関が実施する淨化槽法定検査の事例2」への寄稿を行った。

〔タイトル〕福島県における淨化槽法定検査の取り組み

〔執筆者〕鶴原 己八

○ 災害に伴う淨化槽の被災状況調査

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震について、淨化槽の被災状況調査を行った。

1. 地震の概要

気象庁発表資料を下表にまとめた。

発生時刻	令和4年3月16日23時36分
マグニチュード	7.4(暫定値)
場所および深さ	福島県沖 深さ57km(暫定値)
福島県内の最大震度	6強(国見町、相馬市、南相馬市)

2. 相馬市における調査について

相馬市建設部下水道課を経由して「令和3年2月の地震により槽本体が浮上し入替えを行った淨化槽が今回の地震で再度浮上した。」との連絡が淨化槽管理者より寄せられた。

このことを受け、当協会は相馬市建設部下水道課と連携して保守点検業者及び施工業者の立会いの下で被災状況の確認を行った。この結果、槽本体の著しい浮上と流入及び放流管渠の破損に伴う漏水を認めたことから淨化槽の使用中止を淨化槽管理者に伝え、仮設トイレの手配などの善後策について協議した。

なお、被災淨化槽は浮上防止金具を設置していたが浮上に至っており、現場の状況について情報提供を行った。その後、4月21日に再度入替え工事を行った。

《公2：福島県浄化槽生涯保証システムに関する事業》

浄化槽の機能異常については、当協会がその原因を究明し、機能の正常化のための必要な措置を講ずる制度を設けることにより、浄化槽が「恒久的な生活排水処理施設」として、県民の信頼を確保し、浄化槽を「安全・安心」して使用・利用できる制度を整備し、かつ、一般消費者の利益を擁護することによって、公共用海域の汚濁防止及び水環境の保全、生活環境及び公衆衛生の向上に寄与するものである。

1 保証申立状況

(1) 保証申立て件数

令和3年度の保証申立ては、195件(新設：29件、BOD測定：166件 ※取下げ等除く)であった。

(2) 申立て内容

令和3年度のBOD測定生涯保証登録浄化槽の修補申立て内容は、嫌気ろ床槽内部の「ろ材」が脱落・浮上した件数が117件と166件のうち約70%を占め、次いで「担体流出」が27件であった。

また、新設生涯保証登録浄化槽については28件のうち「ろ材」が26件、「漏水」「内部設備の破損」が各1件となった。

2 福島県浄化槽生涯保証システム運営委員会

(1) 運営委員会の開催状況

令和3年10月18日 福島市ウェディングエルティにおいて第1回運営委員会を開催した。

委員9名(WEB出席：1名)の出席であった。



(2) 福島県浄化槽生涯保証システム運営委員会 委員名簿 [令和4年3月31日現在]

役職名	氏名	所属	区分
委員長	中野和典	日本大学工学部 教授	水環境研究者(学識経験者)
副委員長	境野米子	浄化槽管理者	浄化槽管理者代表
委員	酒谷孝宏	一般社団法人浄化槽システム協会 常務理事(兼)事務局長	製造業者代表
委員	紺野正雄	株式会社A水技研 代表取締役	工事業者代表
委員	山川正人	山川産業有限会社 代表取締役	保守点検業者代表
委員	岡光義	福島県環境整備協同組合連合会 代表理事	清掃業者代表
委員	大河内勇光	本宮市建設部 上下水道課 下水道係長	市代表(学識経験者)
委員	酒井新一	会津美里町 上下水道課 課長補佐	町村代表(学識経験者)
委員	鳴原己八	公益社団法人福島県浄化槽協会 専務理事(兼)事務局長	指定検査機関
オブザーバー	鈴木宏孝	福島県 生活環境部 一般廃棄物課 主幹	福島県

- 以下に本部及び各支部の新設生涯保証システムの登録状況を示す。
 また、既設浄化槽の11条検査(BOD測定)登録状況と修補申立内訳は、次の表のとおりである。

3 生涯保証登録状況

(1) 新設生涯保証登録浄化槽

令和4年3月31日現在

受付年 支部	令和3年度 登録			当年度廃止		過年度廃止		合 計		
	会 員	会員外	計	会員	会員外	会員	会員外	会 員	会員外	計
福 島	285	18	303	4	1	2		279	17	296
伊 達	53	0	53	△				53	0	53
二 本 松	55	22	77	△ 1				54	22	76
郡 山	215	42	257	3				212	42	254
田 村	28	6	34			△		28	6	34
須 賀 川	56	10	66			1		55	10	65
石 川	13	12	25					13	12	25
白 河	0	3	3					0	3	3
棚 倉	47	18	65					47	18	65
会 津 若 松	14	39	53	△				14	39	53
喜 多 方	23	3	26	1				22	3	25
会 津 坂 下	6	13	19					6	13	19
南 会 津	10	1	11					10	1	11
南 相 馬	18	0	18			△		18	0	18
相 馬	45	13	58			1		44	13	57
双 葉	5	0	5	△		△		5	0	5
い わ き	273	17	290	△ 2	△	△ 1		270	17	287
小 計	1,146	217	1,363	11	1	5	0	1,130	216	1,346
本部受付基数	16	8	24	△	△	△		16	8	24
合 計	1,162	225	1,387	11	1	5	0	1,146	224	1,370

(2) BOD測定生涯保証登録浄化槽

登録申請業者	登録件数(基)	登録料	
114社(会員)	46,521	(@100)	4,652,100
4社(会員外)	389	(@300)	116,700
計	46,910		4,768,800

4 平成20～令和3年度 修補申立内訳

№	修補内容	3年度	H20～R2年度	合計	備 考
		(BOD測定)			
1	ろ材脱落、浮上	117件	930件	1,047件	外、新設登録 計154件
2	漏 水	16件	128件	144件	外、新設登録 計 11件
3	担体流出	27件	84件	111件	外、新設登録 計 15件
4	消毒槽ユニットの破損(短絡)	5件	15件	20件	外、新設登録 計 1件
5	その他	1件	7件	8件	外、新設登録 計 11件
計		166件	1,164件	1,330件	計1,522件の保証

《公3：浄化槽に関する普及啓発及び水環境の保全事業》

浄化槽は、すべての生活排水を高度に処理することができ、身近な水辺の水環境の保全に重要な役割を担っている。その重要性を啓発するため、県・市町村と連携・協働を通じて広く県民に対し、浄化槽の正しい知識の普及啓発に努めた。

1 浄化槽に関する普及啓発及び浄化槽の普及を図る事業

浄化槽の正しい知識の啓発を図るため、以下の事業を行った。

(1) 浄化槽の正しい知識の啓発の推進

- ・ホームページや新聞等に水循環や浄化槽に関する各種情報を掲載した。
- ・浄化槽設置者講習会（浄化槽教室）等で、維持管理や使用方法等の重要性や浄化槽の普及啓発のツールとしてDVDを活用し、よりわかりやすい情報提供に努めた。
- ・市町村が浄化槽をはじめて使用する設置者等を対象に開催する「浄化槽設置者講習会（浄化槽教室）」に講師として、協会職員（検査員）や協会会員を派遣し、浄化槽の使用方法や諸制度（浄化槽管理者の義務）等について説明した。
- ・県、市町村等が主催する一般向けイベントにおいてブース展示を行った。

開催日	名称	会場	内容
3. 11. 27	ふくしまゼロカーボンDAY!	郡山市 ビッグパレットふくしま	ブース展示
4. 2. 11	福島市 市民のくらし展	福島市 コラッセふくしま	福島市下水道総務課の展示に対する協力

※講師派遣依頼のあった浄化槽設置者講習会は新型コロナウイルス感染症の影響により全て開催中止となった。

(2) こども環境教室 「こども環境教室～水のゆくえ～」実施報告

○事業概要

当協会は各支部との連携事業で、未来の環境保全を担う子どもたちに「水の大切さ」を理解してもらうために、環境学習の授業や市町村等のイベントに職員、会員を派遣する体制を確保している。

こども環境教室は、一般家庭で使われた生活排水に目を向けてもらい、自分たちの排水がどのように処理されて河川等に放流されているか、また、どのように水が循環していくかを生活排水処理施設である“浄化槽”を通じて、排水処理の大切さや、汚濁負荷を低減させるための日常の取り組みなどについて関心を持ってもらうことを目的としている。

○カリキュラム

①水循環と生活排水処理の説明

地球の水循環から水の大切さや日々の生活から排水され汚水処理の仕組をパネルで説明し、自ら環境保全のためにできる取り組みについて考察する内容である。カットモデルやミニチュアモデルを使用して浄化槽の構造や生物処理のプロセスについても説明する。

②顕微鏡による微生物の観察

一般家庭の合併処理浄化槽の生物膜を試料として使用し、生物顕微鏡で発見する微生物の種類を調べ、どのような水質状態かを考察する。

③パックテストによるCOD等の水質測定

「水道水 1L+牛乳 1mL」「水道水 1L+醤油 1mL」の検体について児童全員が1種類ずつ測定し、日常生活で排出される負荷がごく少量でも汚濁原因となることを学習する。

④ペーパー類の溶解度の比較実験

細断したトイレットペーパー、ティッシュペーパーをペットボトル内で攪拌して溶解度の比較を視覚的に判断することで、トイレではトイレットペーパーを使用する理由を学習する。

○令和3年度実績

福島市管内 10 校、いわき市管内 1 校の計 11 校での開催となった。

なお、いわき市管内では今回が初めての開催となった。

開催日	名称	会場	参加者数（観察等除く）
3. 6. 17	第 1 回こども環境教室	福島市 福島市立瀬上小学校	4 学年児童：82 名 福島支部 9 名、賛助会員 2 名、協会職員 5 名
3. 6. 22	第 2 回こども環境教室	福島市 福島市立蓬莱小学校	4 学年児童：34 名 福島支部 6 名、協会職員 4 名
3. 6. 22	第 3 回こども環境教室	福島市 福島市立福島第二小学校	4 学年児童：22 名 福島支部 6 名、協会職員 4 名
3. 6. 24	第 4 回こども環境教室	福島市 福島市立庭塚小学校	4 学年児童：9 名 協会職員 4 名
3. 6. 24	第 5 回こども環境教室	福島市 福島市立水保小学校	4 学年児童：8 名 協会職員：4 名
3. 6. 25	第 6 回こども環境教室	福島市 福島市立野田小学校	4 学年児童：126 名 福島支部 12 名、賛助会員 3 名、協会職員 5 名
3. 6. 29	第 7 回こども環境教室	福島市 福島市立平田小学校	4~6 学年児童：19 名 福島支部 6 名、協会職員 2 名
3. 7. 2	第 8 回こども環境教室	福島市 福島市立下川崎小学校	4 学年児童：16 名 福島支部 5 名、協会職員 3 名
3. 7. 15	第 9 回こども環境教室	福島市 福島市立清明小学校	5 学年児童：25 名 福島支部 6 名、協会職員 3 名
3. 11. 17	第 10 回こども環境教室	福島市 福島市立岡山小学校	4 学年児童：64 名 福島支部 8 名、協会職員 4 名
3. 11. 26	第 11 回こども環境教室	いわき市 いわき市立好間第一小学校	4 学年児童：42 名 いわき支部 12 名、協会職員 3 名



下川崎小学校



平田小学校



野田小学校



好間第一小学校

(3) 淨化槽の普及を図る事業

1) 【県知事に対する要望活動】

令和3年11月24日 福島市 福島県庁

〔補足〕新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面での要望は中止した。

<要望内容>

- ・みなし（単独）浄化槽等から浄化槽への一層の転換促進
- ・浄化槽設置整備事業における必要な予算の確保
- ・老朽化した既存合併処理浄化槽から合併処理浄化槽への入替えに関する補助制度の創設
- ・避難所等の地域防災拠点への合併処理浄化槽の整備促進
- ・浄化槽市町村整備事業における県補助率のアップ
- ・猪苗代湖周辺地域における浄化槽の維持管理費用の助成
- ・県所有公的施設の浄化槽に関するCO₂排出抑制の推進
- ・浄化槽法第54条に基づく協議会の設置



三浦一般廃棄物課長に3団体の要望書を提出

2) 【県議会に対する要望活動】

令和3年8月24日 福島市 福島県庁

<要望内容>

- 1 みなし（単独処理）浄化槽等から浄化槽への一層の転換促進
- 2 浄化槽設置整備事業における必要な予算の確保
- 3 猪苗代湖周辺地域におけるりん除去型浄化槽への転換促進
- 4 避難所等の地域防災拠点への合併処理浄化槽の整備促進

<要望先>

自由民主党 福島県議会議員会、福島県議会県民連合議員会、公明党 福島県議会議員団

<参加者>

大河原会長、吉川副会長、
鷗原専務理事、職員1名



自由民主党福島県議会議員会（企画環境委員会）



公明党福島県議会議員団



福島県議会県民連合議員会

3) 【国に対する要望活動及び意見交換】

関係大臣及び自由民主党への要望陳情

令和3年12月4日 福島市 ウェディングエルティ



大河原会長から要望事項を説明

<要望内容>

- 1 老朽化した既存合併処理浄化槽から合併処理浄化槽への入替えに関する補助制度の創設
- 2 浄化槽台帳の効率的な整備の支援
- 3 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型浄化槽システム導入推進事業)」の継続

<参加者> 大河原会長、職員2名 計3名

2 浄化槽に関する講習会等の開催

浄化槽の設計・施工を行う浄化槽設備士、保守点検を行う浄化槽管理士及び清掃を実施する清掃実務者並びに浄化槽行政担当者等を対象に、最新の浄化槽行政の情報提供、浄化槽の適切かつ安全な施工方法や浄化槽の目覚ましい技術革新に伴う最新技術の習得等、浄化槽の機能維持を図るための知識の取得をテーマに講習会や研修会等を開催した。

なお、「浄化槽の適正な維持管理技術に関する講習会」は、福島県及び中核市3市（福島・郡山・いわき）における浄化槽保守点検業者登録条例で定める研修会として指定を受けている。

【県内全域を対象に開催する講習会】

(1) 浄化槽の適正な維持管理技術に関する講習会

[実施状況]

開催回	開催地	開催日	会場名	受講者数
7	いわき	3. 4. 14	いわき市生涯学習プラザ	50名
8	福島	3. 9. 1	パルセいいざか	127名

[講義内容]

1. 浄化槽行政について
 - (1) 浄化槽保守点検業者登録条例の改正について
 - (2) 保守点検業者の更新登録等について
 - (3) 保守点検業者の責務について
 - (4) 法改正における浄化槽行政の動向について
 - (5) 浄化槽関係の補助制度について

講師：いわき市 経営企画課

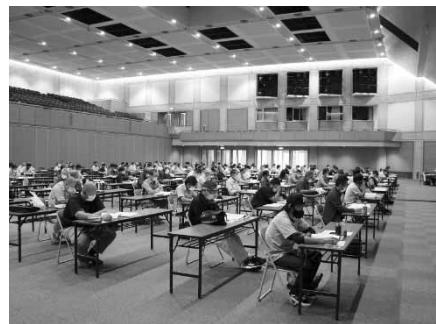
技師 吉田直樹 氏(第7回)

福島市 下水道総務課

主査 深谷 亜也子 氏(第8回)



第7回いわき会場



第8回福島会場

- 2. 処理槽行政の動向
 - (1) 処理槽を取り巻く環境の変化
 - (2) 法改正の内容
- 3. 処理構の構造と機能
 - (1) 新しい処理槽の構造と機能
 - (2) 既存の型式の仕様変更
- 4. 処理槽の保守点検と清掃
 - (1) 新しい処理槽の保守点検と清掃
 - (2) 休止時の留意事項
 - (3) 転換処理槽における初回の保守点検時の留意事項
 - (4) 改善事例（トラブルシューティング）
 - (5) 保守点検・清掃の記録票の活用

講師：公益財団法人日本環境整備教育センター

　　櫛田 陽明 氏(第7回)

　　仁木 圭三 氏(第8回)



第7回：櫛田 陽明氏



第8回：仁木 圭三氏 (WEB講義)

- 5. 保守点検記録票の記入方法について
- 6. 11条検査(BOD測定)の実施方法について
- 7. 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（省エネ型処理槽システム導入推進事業）について
説明：公益社団法人福島県処理槽協会職員

(2) 処理槽の適正な施工に関する講習会

秋頃に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。

【関係団体、関係業者等の開催する講習会・研修会への派遣及び参加】

開催日	名称	会場	内容
4. 2. 28	協同組合 県北地区処理槽管理協会 処理槽保守点検担当者勉強会	福島市 山川産業(有)小川研修棟	【講師派遣】大河内事務局次長兼部長
4. 3. 18	南会津環境整備協業組合 研修会	南会津町 グリーンホテルミナト	【講師派遣】吉川会津支所長
4. 3. 31	協同組合 あぶくま処理槽管理センター 研修会	二本松市 同組合事務所	【講師派遣】大河内事務局次長兼部長

3 処理槽に関する相談事業

処理槽に対する信頼確保を目的に、処理槽管理者を含む一般県民からの相談等に対してホームページを利用したメールや電話での相談等に応ずる事業である。相談者への助言や回答は、法定検査業務に長く携わり、専門的な知識・技術を有する職員（検査員）が担当している。

【主な相談内容】 保守点検・清掃に関する回数や料金、委託先について

くみ取りトイレから処理槽への転換について

処理槽の休止の手順等について

等々

【収益事業関係】

《浄化槽に関する受託業務等》

1 福島県合併処理浄化槽普及促進協議会

開催日	名称	会場	内容
3. 5. 7	第1回理事会(書面開催) 及び事業打合会	福島市 協議会事務局	【出席者】 理事名 監事2名 (全員出席:書面)
3. 5. 10	監査	福島市役所 新地町役場	木幡(福島市長)監事 大堀(新地町長)監事
3. 5. 28	第30回通常総会 (書面開催)	福島市 協議会事務局	【出席】市町村会員 57名 (全員出席)
3. 8. 5	令和3年度 浄化槽整備事業市町村職員 研修会	郡山市 郡山ユラックス熱海	<p>【研修内容】</p> <p>1. 令和3年度 浄化槽整備事業について 福島県生活環境部一般廃棄物課 副主査 大槻 涼平 氏</p> <p>2. 浄化槽の歴史と展望 [WEBによる講義] (1) 公共浄化槽等整備推進事業(PFI事業)及び 生活排水処理計画 (2) 浄化槽法定検査の位置付け及び 法定検査の見直し検討の経緯 全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 久川 和彦 氏</p> <p>3. 「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」について 協会事務局</p> <p>【出席者:会員市町村 51名、県・講師等 7名】</p>
3. 11. 26	令和3年度 全国浄化槽推進市町村協議会 通常総会 (書面開催)	東京都墨田区 全净協事務局	
3. 12. 7	令和3年度 北海道・東北ブロック 浄化槽行政実務者講習会	福島市 コラッセふくしま	<p>【研修内容】</p> <p>1. 最近の浄化槽行政について 全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 久川 和彦 氏</p> <p>2. 持続性のある生活排水処理施設の整備に向けて (公財)日本環境整備教育センター 理事 国安 克彦 氏 〔福島県:開催担当県〕</p> <p>【出席者:98名(WEB含む)】</p>  
4. 3. 9	令和3年度 全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長会議 (書面開催)	東京都墨田区 全净協事務局	
4. 3. 25	令和3年度 全国浄化槽推進市町村協議会 臨時総会 (書面開催)	東京都墨田区 全净協事務局	

2 窒素りん除去型浄化槽普及拡大事業【福島県委託】

開催日	名称	会場	内容
3. 5. 21	窒素りん除去型浄化槽 講習会（関係業者向け）	猪苗代町 体験交流館学びいな	<p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 猪苗代湖の水質の現状と制度について 説明：福島県生活環境部水・大気環境課 家庭でできる生活排水対策について 説明：公益社団法人福島県浄化槽協会 郡山市浄化槽設置整備事業補助金について 説明：郡山市上下水道局お客様サービス課 猪苗代町浄化槽設置整備事業補助金について 説明：猪苗代町上下水道課 窒素りん除去型高度処理浄化槽 ～構造・機能、施工及び維持管理について～ (1) 凝集剤(PAC)方式 説明：株式会社ダイキアクシス・大栄産業株式会社 (2) 鉄電極方式 説明：フジクリーン工業株式会社 <p>【参加者：計 30 名 (WEB 参加含む)】</p>
3. 10. 29 3. 11. 30	窒素りん除去型浄化槽 講習会（住民向け）	猪苗代町 〔1回目〕 体験交流館学びいな 〔2回目〕 市沢集会所	<p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 猪苗代湖の水質の現状について 説明：福島県生活環境部水・大気環境課 猪苗代町浄化槽設置整備事業補助金について 説明：猪苗代町上下水道課 家庭でできる生活排水対策について 窒素りん除去型浄化槽の特徴や維持管理について 説明：公益社団法人福島県浄化槽協会 <p>【1回目参加者：13名（うち住民9名）】 【2回目参加者：10名（うち住民5名）】</p>

3 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（省エネ型浄化槽システム導入推進事業）関係 〔（一社）全国浄化槽団体連合会委託〕

環境省による省エネ型浄化槽システム導入推進事業については上部団体である（一社）全国浄化槽団体連合会が執行団体とされ、当協会は県内における申請物件の審査等の事務及び説明会の開催など事業の周知を受託している。

（1）説明会

開催日	名称	会場	内容
3. 4. 14	第7回浄化槽の適正な維持管理 技術に関する講習会	いわき市 いわき市生涯学習プラザ	受講者数：50名
3. 9. 1	第8回浄化槽の適正な維持管理 技術に関する講習会	福島市 パルセいいざか	受講者数：127名

（2）事業実績

今年度の全国実績は577件（交付申請額：約14億8千万円、CO2削減量：3532.3t）であった。うち、本県の申請実績は下表のとおり。

事業区分	件数	補助交付額 (円)	CO2削減量 (t)
TYPE1（電動機器の更新）	37	64,873,000円	179.5
TYPE2（槽本体の入替え）	5	32,781,000円	167.1
計	42	97,654,000円	636.6



4 净化槽管理士講習関係〔(一社)全国浄化槽団体連合会委託〕

令和3年11月22日～12月4日の期間で、いわき市において浄化槽管理士講習を開催した。受講者数は68名であった。

5 諸用紙の販売等

- ア 保守点検記録票・・・115冊販売
- 清掃記録票・・・・・・・68冊販売
- イ 浄化槽管理士手帳等の交付事務手続き
 - ①浄化槽管理士証・・・・・・・・・・・29名
 - ②浄化槽技術管理者受講修了証明証・・5名

【会員相互の扶助等事業】

会報の発行

令和4年3月に第62号を発行した。

※会員施設視察研修会は、新型コロナウイルス感染拡大のため今年度も開催を中止した。

【法人管理関係】

《法人の概況》

1 設立年月日

昭和49年12月7日 社団法人福島県浄化槽協会 法人認可（福島県指令環保第721号）
平成25年 4月1日 公益社団法人 福島県浄化槽協会 移行登記

2 定款に定める目的

この法人は、浄化槽の正しい知識を県民に啓発し、浄化槽の普及を促進するとともに、浄化槽法に基づく検査、浄化槽に関する技術の向上、並びに設計を含む製造(以下「製造」という。)、工事、保守点検及び清掃の適正化を図り、もって地域社会の水環境の保全、生活環境及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

3 主たる事務所

福島市野田町1丁目16番35号

4 会員の状況

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの正会員の入会及び退会の状況は、次のとおり。

(1) 正会員

【入会】

No.	支部	社名	代表者名	業種別	入会日
1	郡山	株式会社 福島特殊工業	江口 典志	工事業	3. 4. 1

【退会】なし

(2) 賛助会員

【入会】なし

【退会】なし

(3) 会員の入退会状況

会員数調書

支 部	R3.4.1		R4.3.31		R4.4.1参考	
	会員数	うち同日付入会	会員数	同日付退会	同日付入会	会員数
福 島	42		42			42
伊 達	23		23			23
二 本 松	21		21			21
郡 山	36	(1)	36			36
田 村	15		15			15
須 賀 川	26		26			26
石 川	11		11			11
白 河	8		8			8
棚 倉	15		15			15
会 津 若 松	12		12			12
喜 多 方	24		24			24
会 津 坂 下	19		19			19
南 会 津	16		16			16
南 相 馬	27		27			27
相 馬	10		10		1	11
双 葉	12		12			12
い わ き	65		65			65
合 計	382	(1)	382		1	383
員 外	2		2			2
賛 助 会 員	30		30			30

5 許認可に関する事項

浄化槽法第 57 条第 1 項に基づく指定検査機関の指定

(令和 3 年 3 月 5 日付け福島県指令環保第 2394 号)

令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの 5 年間

【告示】

○浄化槽法の規定により指定検査機関を指定した件

令和 3 年 3 月 23 日付け福島県報 福島県告示第 321 号

6 役員等に関する事項

次の役員名簿のとおりである。

令和 4 年 3 月 31 日現在

No.	役職	所属	氏名	社名
1	会長	郡山支部	大河原正一	株式会社 総合住宅環境センター
2	副会長	いわき支部	岡光義	合資会社 勿来衛生社
3	副会長	福島支部	吉川昭	福島ネオ工業 株式会社
4	副会長	学識経験者(員外)	中野和典	日本大学工学部 教授
5	専務理事	員外	鳴原己八	公益社団法人 福島県浄化槽協会
6	理事	福島支部	山川正人	山川産業 有限会社
7	理事	伊達支部	佐藤祐司	有限会社 佐藤設備
8	理事	郡山支部	江口典志	有限会社 福島青興社
9	理事	須賀川支部	小野寺仁	クボタ環境衛生 株式会社 須賀川支店
10	理事	田村支部	安瀬亨	株式会社 伸和商会
11	理事	棚倉支部	本多幸雄	株式会社 カンスイ
12	理事	喜多方支部	佐藤幸三	有限会社 佐藤鐵工所
13	理事	会津坂下支部	横山正弘	株式会社 高田燃料
14	理事	会津坂下支部	猪俣孝之	坂下清掃 有限会社
15	理事	南会津支部	穴澤貞夫	株式会社 光和設備工業所 南会津支店
16	理事	南相馬支部	田原義久	株式会社 昭和衛生センター
17	理事	南相馬支部	小元英喜	有限会社 ひばり住設
18	理事	相馬支部	長尾一雄	株式会社 長栄社
19	理事	いわき支部	根本宏	株式会社 アメニティいわき
20	理事	いわき支部	坂本憲弘	株式会社 大倉工業所
1	監事	福島支部	紺野正雄	株式会社 A水技研
2	監事	学識経験者(員外)	佐藤昌彦	税理士法人 MASTAC 佐藤会計 笹谷事務所 (東北税理士会福島支部 推薦)

《会議関係等》

1 協会の主な会議

開催日	名称	主な内容	会場
3. 5. 10	令和3年度定期監査	1. 令和2年度 事業報告について 2. 令和2年度 収支決算について 3. 令和2年度 正味財産増減計算について 監事：佐藤昌彦、紺野正雄 (大河原会長、吉川副会長、鳴原専務理事、職員2名 立合)	福島市 ウェディングエルティ
3. 5. 10	第1回三役会議	1. 令和3年度 第1回理事会への提案事案について (大河原会長、吉川副会長、鳴原専務理事 出席)	福島市 協会事務所
3. 5. 17	第1回理事会	【出席者：理事17名、監事2名】	福島市 ウェディングエルティ
3. 6. 11	第9回定時総会	<p>I. 特別講演 「福島県の災害リスク」 講師：(株)斎藤予報士事務所 代表取締役 斎藤恭紀 氏</p> <p>II. 功労者表彰 • (公社)福島県浄化槽協会 会長表彰状 柳沼 宏 氏(郡山支部) 磯目智仁 氏(郡山支部) 中野重美 氏(棚倉支部) 横山正弘 氏(会津坂下支部) 但野 浩 氏(南相馬支部) 若松増之 氏(いわき支部) • (一社)全国浄化槽団体連合会 会長感謝状(伝達) 岡 光義 氏(いわき支部)</p> <p>III. 議事 議長：長尾昌也 氏(いわき支部) 【審議事項】 第1号議案 令和2年度 事業報告及び収支決算報告について (1)事業報告 (2)収支決算報告 (3)監査報告 第2号議案 理事・監事の選任について 【報告事項】 1. 令和3年度 事業計画及び収支予算について (1)事業計画 (2)収支予算 会員総数 380名 出席 268名(うち委任状提出 241名)</p>   	福島市 ウェディングエルティ
3. 6. 11	第2回理事会	【出席者：理事20名、監事2名】	福島市 ウェディングエルティ
3. 7. 22	第3回理事会	【出席者：理事15名、監事2名】	福島市 ウェディングエルティ
3. 9. 14	第4回理事会	【出席者：理事20名、監事2名】	福島市 ウェディングエルティ
3. 9. 14	令和3年度 理事・支部長合同会議	【出席者：支部長15名】	福島市 ウェディングエルティ
4. 1. 18	中間監査	1. 令和3年度 上半期事業実施状況について 2. 令和3年度 上半期会計収支状況について 監事：佐藤昌彦、紺野正雄 (大河原会長、鳴原専務理事、職員2名 立合)	福島市 ウェディングエルティ
4. 3. 9	第5回理事会	【出席者：理事18名、監事2名】	福島市 ウェディングエルティ

2 その他協会関係会議における出席、参加状況は次のとおりである。

(1) 関係会議等関係：県内

開催日	名称	会場	内容
3. 6. 15	地球にやさしい福島県民会議	—	(委員：鳴原専務理事 WEB 出席)
4. 1. 31	紺碧の猪苗代湖 復活プロジェクト会議	—	※書面開催
4. 3. 11	福島県 東日本大震災復興追悼祈念式典	福島市 福島県文化センター	(大河原会長 出席)

(2) 関係団体事業・関係会議等関係：全浄連・県外

開催日	名称	会場	内容
3. 6. 23	(一社)全国浄化槽団体連合会 東北地区協議会第 47 回通常総会	青森県青森市 協議会事務局	※書面開催
3. 6. 25	(一社)全国浄化槽団体連合会 第 9 回通常総会	東京都新宿区 全浄連事務局	(大河原会長 WEB 出席)
3. 7. 7	(一社)全国浄化槽団体連合会 第 38 回理事会	東京都新宿区 全浄連事務局	(監事：大河原会長 WEB 出席)
3. 8. 24	(一社)全国浄化槽団体連合会 第 39 回理事会	東京都新宿区 全浄連事務局	(監事：大河原会長 WEB 出席)
3. 12. 24	(一社)全国浄化槽団体連合会 第 40 回理事会	東京都新宿区 全浄連事務局	※書面開催
4. 2. 17	(一社)全国浄化槽団体連合会 第 1 回検査委員会	東京都新宿区 全浄連事務局	(委員：鳴原専務理事 WEB 出席)
4. 3. 25	(一社)全国浄化槽団体連合会 第 41 回理事会	東京都新宿区 全浄連事務局	(大河原会長欠席のため鳴原専務理事 傍聴)

(3) 全浄協関係

開催日	名称	会場	内容
3. 4. 22	全国浄化槽推進市町村協議会 浄化槽登録審査専門委員会	東京都墨田区 (公財)日本環境整備教育センター	(委員：鳴原促進協事務局長 書類審査)
3. 6. 24	全国浄化槽推進市町村協議会 浄化槽登録審査専門委員会	東京都墨田区 (公財)日本環境整備教育センター	(委員：鳴原促進協事務局長 WEB 出席)
3. 8. 26	全国浄化槽推進市町村協議会 浄化槽登録審査専門委員会	東京都墨田区 (公財)日本環境整備教育センター	(委員：鳴原促進協事務局長 WEB 出席)
3. 10. 21	全国浄化槽推進市町村協議会 浄化槽登録審査専門委員会	東京都墨田区 (公財)日本環境整備教育センター	(委員：鳴原促進協事務局長 WEB 出席)
3. 12. 16	全国浄化槽推進市町村協議会 浄化槽登録審査専門委員会	東京都墨田区 (公財)日本環境整備教育センター	(委員：鳴原促進協事務局長 WEB 出席)
4. 2. 24	全国浄化槽推進市町村協議会 浄化槽登録審査専門委員会	東京都墨田区 (公財)日本環境整備教育センター	(委員：鳴原促進協事務局長 WEB 出席)